

寄地区の社会基盤の整備を



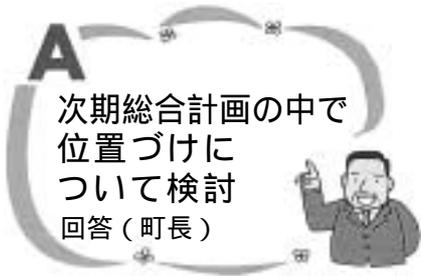
質問者
飯田 一 議員

田代向こう地区の社会基盤の整備を。

寄地区内の田代向こう(田代団地)の住宅地内の現状は道路幅も狭く、排水路に鉄板を敷き、道路として使用している状態で、イザという時、救急車も入れない様な状況です。また、用水路も一部大雨が降ると道路にあふれ出し、近隣の住宅も床下浸水の心配があります。

町道寄4号線の拡幅整備を。

町道寄4号線は、県道710号線から秦野方面に抜ける道路です。秦野方面への通勤、通学等のための生活道路として交通量の多い道



次期総合計画の中で位置づけについて検討
回答(町長)

路ですが、急峻な道路のため雪が降るとスリップして危険な箇所、カーブでも道路幅がなく危険な箇所があります。以上2件について、今後の計画をお伺いいたします。

抜本的な改修には莫大な予算を必要とする。ともに、用地買収に伴う公図不整合地の整理

や地権者の協力が必要である。当面は、順次腐食した鉄板の交換や、崩壊の危険性のある水路の改修など部分的に対応したい。今後は23年度からの次期総合計画の中で位置づけについて検討したい。

害発生時には当地区で生命線となっている。その為、町としても県道への格上げ要望もしているが、県財政の逼迫している現状の中、県では新設路線を設けないと聞いており、今後の県道格上げには難しいものがある。今後は車輛が安全に走行できるような対応をしていきたい。



質問者
菅谷 一夫 議員

平成21年度一般会計予算案と行政課題について

未曾有の経済危機の下、新年度予算案が調整されました。ご苦労が伴った作業と推察致しますが、次の点を町長に伺います。予算案は歳入歳出の

見積りだけでなく、一定期間の財政計画でありますので、後年度に繋がる資金計画等を作成し公表なさる考えは。町、活力の活性化策



「町づくり」は人づくり
回答(町長・教育長)

23年度よりの総合計画策定時に公会計制度の導入と、経済情勢を

状況は。

教育現場の作業の進捗状況は。

源泉であり原動力である、人口増加対策や定住促進対策等の施策が停滞している様思っています。

教育振興基本計画が期間目標10年で発令され、うち5年間で取組む施策が通達されておりますので、

(1) 確かな学力の保証
(2) 豊かな心と健やかな体の育成
(3) 教員が子供一人一人に向き合う環境づくり等について、

鑑み三年程度の短期財政計画をローリングする方式で策定する。

人口増加、定住促進施策として新松田駅南口や下水道の整備事業を執行しているが、本町の地形的要件と経済社会的動向等を考慮すると、こうした施策のみでは十分な効果は得られず、難しい状況である。

(1) 21年度より小学校週一時間、中学校では選択教科等の時間を必修教科に充て、「わかる 授業」を推進する。

(2) 週一時間の道徳授業を基に、道徳教育を学校教育の要として、道徳的実践力を身に付けられる教育の推進

(3) 各学校に教育の支援相談体制を構築して、「個」に応じた適切な対応が出来る環境を学校全体で作っている。